

平成29年度（第7事業年度）

事業報告及び附属明細書

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

I. 公益目的事業

生涯学習の振興及び活性化支援事業

平成 29 年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑なる進展を図るため、国内外の動向を踏まえた最新の情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行した。

特に、今年度は、「日本女性学習財団賞」をリニューアルした「日本女性学習財団 未来大賞」のレポート募集と、財団認定キャリア形成支援士の活動支援に注力し、財団中期ビジョンに沿って、財団の目的を継続的に果たすことができるよう基盤を強化した。

1. 研究調査

(1) 防災・減災に関する調査研究

趣旨：男女共同参画と災害・復興ネットワーク（代表：堂本暁子）と協働で事業を行うと共に、ホームページ等で防災・減災とジェンダーに関する情報を発信した。

内容：①財団HPの「防災・減災とジェンダー」を更新した。

②月刊『We learn』平成 30 年 2 月号で「震災と女性」の特集を組んだ。

(2) 女性の教育・学習活動史研究

趣旨：「日本女性学習財団賞」をリニューアルし、「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや過程などをまとめたレポートを募集し、「日本女性学習財団 未来大賞」として優秀作品を表彰した。

選考委員：村松泰子（委員長）、高井正、服部篤子、藤井俊一

内容：①未来大賞応募のための説明会

実施日：平成 29 年 5 月 25 日 参加者：4 人

②選考委員会

実施日：平成 29 年 11 月 9 日 応募 44 篇の中から大賞 1 篇を選考。

第 1 回未来大賞 受賞レポート「どうして私たちは輝けないのだろう」

菊池悦子（東京都）

③贈呈式

実施日：平成 30 年 3 月 3 日

*月刊『We learn』平成 30 年 3 月号に大賞レポートを全文掲載した。

2. 人財育成事業

(1) 公益財団法人日本女性学習財団認定キャリア形成支援士養成

趣旨：働く女性・働きたい女性をサポートする方を「キャリア形成支援士」として認定するための養成講座を実施した。また、「キャリア人財プラットフォーム」を基盤として、この核となる「キャリア形成支援士」の交流と活動を支援した。

*平成 30 年 3 月末現在 認定支援士 105 人（第 1 期～第 5 期）

※「公益財団法人日本女性学習財団認定キャリア形成支援士」は、平成 30 年度より名称を「公益財団法人日本女性学習財団キャリア支援デザイナー」と改める。

- 内容：①（公財）日本女性学習財団認定キャリア形成支援士 第5期養成講座
実施日：平成29年7月29日 認定者：28人
講師：福沢恵子、村松泰子
- ②（公財）日本女性学習財団認定キャリア形成支援士更新講座
第2期 実施日：平成29年7月1日
更新申請者：18人（第2期） 参加者：13人（第1期4人・第2期9人）
講師：倉持伸江、村松泰子
第3期 実施日：平成30年1月21日
更新申請者：12人（第3期）
参加者：18人（第1期1人、第2期8人、第3期9人）
講師：倉持伸江、村松泰子
- ③ 支援士ブラッシュアップ講座
第1回 実施日：平成29年6月10日 参加者：16人
テーマ：人生100年時代 とともに考えよう！ミドル期からのキャリア形成
コーディネーター：亀田温子
登壇者：岩井真理・西村明希子（第2期）、岩澤佳子（第4期）
第2回 実施日：平成30年2月23日 参加者：60人
テーマ：登山家・田部井淳子さんにみる女性のリーダーシップ
講師：北村節子、加藤千恵、村松泰子
会場：京都アカデミアフォーラム in 丸の内
共催：京都光華女子大学
- ④ 支援士企画協働事業
第1回募集 応募企画1件、採用企画1件
第2回募集 応募企画3件、採用企画3件（うち1件は次年度開催予定）
第1回 実施日：平成29年6月10日 *前年度採択分
参加者：32人
テーマ：「また笑って働ける！キャリアの挫折の乗り越え方」
企画：佐藤美礼（第4期）
講師：佐藤美礼ほか
協働先：NPO日本キャリア・コンサルタント協会（JCCA）
第2回 実施日：平成30年2月3日
参加者：19人
テーマ：「転勤帯同と女性のキャリアー引越10回でも自分をあきらめない
私らしく歩んでいこう」
企画・講師：星野やすえ（第5期）
協働先：星野やすえ
第3回 実施日：平成30年3月3日
参加者：11人
テーマ：「講演会 仕事を創るー臨床化粧療法士への道」
企画：遠藤雅子（第2期）
講師：遠藤雅子（第2期）、河村しおり
協働先：遠藤雅子&（一社）日本臨床化粧療法士協会
第4回 実施日：平成30年3月17日
参加者：25人

テーマ：「キャリアの挫折を転機に変えよう！－幸せな未来への『キャリア再起』講座」

企画：佐藤美礼（第4期）

講師：佐藤美礼ほか

協働先：NPO 日本キャリア・コンサルタント協会（JCCA）

⑤ 講師派遣事業企画

応募企画2件、採用企画2件

*採用企画は次年度開催予定

⑥ 支援士交流会

第1回 実施日：平成29年9月24日 参加者：6人

会場：九州産業大学（福岡県福岡市）

第2回 実施日：平成30年2月3日 参加者：6人

ゲストトーク：横井千香子

*キャリア形成支援士ラーニング・ラボ特別編として開催

⑦ 支援士企画プロジェクト

a. エンカレッジプロジェクト

第3回 実施日：平成29年5月21日 参加者：6人

b. キャリア形成支援士ラーニング・ラボ

第3回 実施日：平成29年9月9日 参加者：5人

テーマ：「ミドルからの大学院進学～アカデミック・キャリアを考える」

3. 情報提供

(1) 月刊『We learn』発行

趣旨：男女共同参画の普及啓発のための専門情報誌として女性の生涯学習及び次世代育成の全国的・国際的な課題を明らかにし、研究及び実践事例に関する情報を収集・提供した。今年度は、女性の生涯にわたる学びとキャリア形成を進める上での企画や教材の礎になることを意識した情報提供を行った。

① 総発行部数 13,200部 (1,200部/月、年11回発行)

② 販売部数 4,301部 贈呈・交換部数 3,310部 事業配布 1,000部

③ 特集テーマ

平成29年4月号	おとなが学ぶということ
5月号	「家族規範」再考
6月号	「女性活躍」を問う
7月号	女性の身体と健康
8月号	女性の仕事？男性の仕事？
9月号	人生100年時代を生きる女性たち
10月号	情報とのつき合い方
11・12月号	性暴力
平成30年1月号	グローバリゼーションに立ち向かう
2月号	震災と女性
3月号	出発・再出発

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

① パネルの貸出

貸出件数：5件 販売件数：2件

貸出先	浜松男女共同参画推進協会、千葉県鎌ヶ谷市民会館、 佐賀県多久市役所、沖縄県嘉手納町役場、 鹿児島県男女共同参画推進センター
販売先	長野県立男女共同参画センター、柏市男女共同参画センター

② 東京ウィメンズプラザフォーラムへの展示参加

平成29年10月27・28・29日開催の東京ウィメンズプラザフォーラムにて財団紹介パネル展示を実施

(3) 資料の整備・情報公開

① ホームページによる情報提供

当財団の事業については、適宜事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開した。また、フェイスブックを用いて、タイムリーな情報提供に努めた。
ホームページアクセス数：平成29年度116,032件(前年度123,868件)

② ぶっく・とーくの開催

第16回 実施日：平成29年10月3日 参加者：28人

話し手：長田華子(『999円のジーンズがつくられるのはなぜ?』著者)

聞き手：田中由美子

*当日の様子は、月刊『We learn』平成30年1月号に掲載した。

4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に加え・連携して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

(1) 他団体との連携・支援事業

① 講座等の開催

- a. 「女性参政権記念イベント もし世界がパリテになったら」(主催：パリテ・キャンペーン実行委員会、協力：港区立男女平等参画センター・(公財)日本女性学習財団)

実施日：平成29年4月10日

会場：港区立男女平等参画センター

- b. ジェンダーサミット10 サテライトシンポジウム「ダイバーシティ推進と科学技術の未来—ジェンダード・イノベーション—」(主催：在日本国米国大使館・東京工業大学・米国国立科学財団、協力：国立研究開発法人科学技術振興機構・(公財)日本女性学習財団)

実施日：平成29年5月24日

会場：東京工業大学大岡山キャンパス

- c. 東京ウィメンズプラザ図書資料室企画「進化し続ける家庭科：おとなのための家庭科“モギ”授業」(主催：東京ウィメンズプラザ、協力：(公財)日本女性学習財団)

実施日：平成29年6月17日

会場：東京ウィメンズプラザ図書資料室

- d. 講演会「ライブラリアンと専門性 —ラトガース大学の女性学研究支援」（主催：図書館員のキャリア研究フォーラム、共催：（公財）日本女性学習財団、協力：東京大学大学院工学系研究科男女共同参画委員会）
 実施日：平成 29 年 11 月 11 日
 会場：東京大学工学部工 2 号館図書室

② 関連団体の会議への参加

- a. NPO 法人全国女性会館協議会：総会出席（学習事業課主任）、第 61 回全国大会出席（理事長、学習事業課長）
 b. 文部科学省主催「女性の学び支援のための研究協議会」パネル展示
 実施日：平成 30 年 2 月 26 日（学習事業課 課長、主任）
 c. 国際婦人年連絡会：総会、全体会他（学習事業課長）
 d. 社会教育団体振興協議会：総会、幹事会他（理事長、常務理事）
 e. 男女共同参画と災害・復興ネットワーク 運営委員会（理事長）
 f. 男女共同参画学習を推進する有志の会（理事長・学習事業課 課長、主任）

③ 団体、自治体、大学への職員等派遣

- ・平成 29 年 5 月 28 日 江東区「第 25 期パルカレッジ」講師（理事長）
- ・平成 29 年 6 月 17 日世田谷区男女共同参画センター「平成 29 年度区民企画協働事業」審査会審査委員（学習事業課長）
- ・平成 29 年 6 月 21 日 墨田区「平成 29 年度すずかけ大学」講師（理事長）
- ・平成 29 年度国立女性教育会館「教職員を対象とした男女共同参画研修」企画委員（理事長）
- ・平成 30 年 1 月 6・7 日 国立女性教育会館「教職員を対象とした男女共同参画研修」講師（理事長）
- ・平成 29 年 5 月～平成 31 年 3 月 国立女性教育会館「女性教育情報センター資料収集委員」（学習事業課長）

④海外よりインターンシップ生の受入

平成 30 年 2 月～3 月

(2)生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設を低料金で賃貸している。平成 29 年度は 6 月に 1 団体が法人解散により退去し、期末には 5 団体に支援している。

対象団体と面積は以下のとおりである。

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1 階	45.29
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1 階	5.73
3	認定特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会	4 階	22.89
4	公益財団法人 さわやか福祉財団	7 階	111.69
5	一般社団法人 国際女性教育振興会	8 階	14.12
	計		199.72

(3) シェアオフィス・バーチャルオフィス運営「オフィス We learn」

趣旨：現在女性が起業するにあたって、活動拠点となるオフィスの確保が障壁の一つとなっており、女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィスを設置することで女性の自立を支援する。日本女子会館の新しい事業形態の構築を目指す実験プログラム。

対象：起業を目指す女性、都心に事務所を必要としている女性起業家等、働く女性及び女性が代表を務める法人

会員種別：正会員、法人会員、デイリー会員、イブニング会員、バーチャル会員

定員：30人

現在会員数：18件（法人会員；4団体、デイリー会員；12名、バーチャル会員；2名）

*法人会員2件に対して、施設内の個室使用許諾の契約を結んでいる。

II. 収益事業

平成29年度の収益事業収益は108,275,916円、経常費用は49,713,214円であり、収益事業の損益は58,562,702円となる。

公益目的事業会計、法人会計を含む全体の経常損益は、収益：146,676,155円、費用：128,508,780円、損益：18,167,375円となり、前年度損益と比較し5,099,266円のプラスであった。今後も修繕、設備更新の費用は増加することが予想されるので、次年度も計画的修繕・設備更新に加え、突発的な事象に対する対応力の強化を図っていく。

なお、費用総額のうち公益目的事業会計の占める割合は55.40%で、50%を超えているため公益財団法人としての基準を満たしている。

1. 日本女子会館建物の賃貸事業

(1) 入退居テナント状況

期首に満室であったが、平成29年6月末に4階テナントの退去により一時的に空室が発生したが、7月に既存テナントと契約(増床)し、その後満室状態を維持している。

(2) 契約更新・再契約状況

既存テナントについての賃料改定協議は、2件について平成29年1月に調停申立を行ったが不調となり、現在も訴訟係争中である。この2件以外は、賃料改定交渉を実施していない公益事業対象の5団体を除くすべてのテナントが新賃料で合意している。

尚、平成30年7月19日に4階テナント1件の解約申し入れを受領しているが、同室は8月より新テナントの入居が決定しており、引き続き満室を維持することとなる。

2. 日本女子会館の維持経営

(1) 日本女子会館建物の維持管理

建物の老朽化に対して計画的に修繕、更新を進めている。平成29年度も継続して、老朽化に起因する人的に被害をもたらす恐れのある改修・更新を最優先事項とする対応を行った。

平成29年度は、経年劣化による器具・配管等水廻りの修繕が増加している。その他、照明器具、空調設備等についても、経年による不具合の発生頻度が高くなり始めており、引き続き修繕・更新計画に基づき対応していく。

平成 29 年度の主な修繕工事は、屋上看板・貯水槽の塗り替え、3 階空調機室外機ファンモーター交換、6 階空調機圧縮機交換、2 階共用部天井照明器具交換、各所トイレフッシュバルブ交換、その他各種修繕工事費は約 400 万円であった。

建物附属設備の更新(取得)として、屋上冷却塔(旧空調設備)の撤去、非常用自家発電装置の更新、地階空調機更新を行い、建物設備更新積立資金から約 873 万円取り崩した。

(2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループ

平成 24 年 8 月 30 日に第 1 回委員会開催後、平成 29 年度は 7 月、2 月に開催し、事業スキームについて検討を行った。

Ⅲ. 管理部門

1. 賛助会員

平成 29 年度末における会員状況は、以下のとおり。

個人会員数：29（32 口） 法人会員数：0

平成 30 年度についても順調に更新、入会の申込を受け付けている。

2. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
第 1 回理事会 平成 29 年 5 月 24 日 日本女子会館	議題 (1) 平成 28 年度事業報告書(案)について (2) 平成 28 年度収支決算書(案)について (3) 平成 29 年度定時評議員会の日程及び議案について (4) 理事の任期満了につき改選について 報告事項 (1) 就業規則一部改定について (2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認
平成 29 年 6 月 12 日 書面による同意	提案(提案者：代表理事 村松泰子) (1) 藤井俊一を業務執行理事に選任する	承認決議
第 2 回理事会 平成 29 年 10 月 4 日 日本女子会館	議題 (1) 平成 29 年度上半期事業の実施状況について 報告事項 (1) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	可決承認
第 3 回理事会 平成 30 年 3 月 9 日 日本女子会館	議題 (1) 平成 30 年度事業計画(案)について (2) 平成 30 年度収支予算書(案)について (3) 規則制定について 報告事項 (1) 平成 29 年度下半期の事業進捗について (2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	可決承認 可決承認 可決承認

2. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
定時評議員会 平成 29 年 6 月 12 日 日本女子会館	議題 (1)平成 28 年度事業報告及び決算書の承認について (2)理事の任期満了につき改選について 報告事項 (1)平成 29 年度事業計画及び収支予算書について (2)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループの審議概要	可決承認 可決承認

事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第 11 条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。